

**連載39 ウガミヤブラ(こんにちは)
鹿児島事務所 です！**

知名町消防団上平川分団

5位入賞：県消防操法大会



第31回鹿児島県消防操法大会が、8月26日に県消防学校で開催され、大島支部上平川分団がポンプ車の部で出場しました。また、小型ポンプ車の部には和泊町第6分団が出場し、沖永良部島から揃つての県大会出場となりました。

この大会は隔年で行われており、県内各支部の予選を勝ち抜いたチームが火災時の消火活動を想定して、ポンプ車等からホースをつ

なぎ標的に放水し、消火活動を終了するまでの速さや操作の正確性、そして規律の正しさを競うものです。

8番目に出場した上平川分団は、他のチームや観客が見守るなか、指揮者の号令によりポンプ車の操作を開始して

20メートルのホース3本を的確につなぎ、約60メートル先にある炎にみたてた標的に放水しました。結果は、タイムでは11チーム中8位でしたが、規律等の動作を含めた総合得点で5位となりました。機械器具の取り扱いの習熟、迅速な行動や規律の高さは、優勝したチームと比べても遜色のないすばらしい操法でした。

知名町消防団は、大正7年前に誕生した私設消防組が昭和28年に自治



体消防団として発足し、現在に至っています。過去には県消防操法大会での優勝や、全国大会準優勝など輝かしい成績を残しています。

消防団は、火災時の出動はもとより、台風や地震といった自然災害などにおいても住民の避難誘導、救出

作業を最前線で行う重要な役割を担っています。私たちが日々安心して暮らせて

いるのも、仕事を持ちながら訓練を重ね、地域防災に貢献している消防団員の努力があつてこそだと強く

いました。働く、町や字の縁の下の力持ちとして活躍してくれるこ

とを期待しています。

『海の見える理髪店』

荻原 浩／著 集英社

ある想いを胸に秘め、古い理髪店を訪ねた「僕」と店主が交わす特別な時間。急逝した娘に代わり成人式に替え玉出席すべく奮闘する夫婦。『永遠のようで儚い家族の日々を描く6編の物語。『小説すばる』掲載を単行本化。』

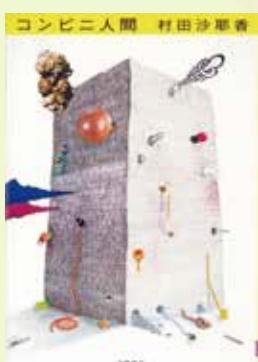


話題の本、入荷しました!

New books

『コンビニ人間』

村田 沙耶香／著 文藝春秋



36歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは18年目。これまで彼女なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

